

山梨アートプロジェクト 2021 質疑応答 (5月21日)

※事務局のメールアドレス宛および現地見学会での質問に対し、まとめて回答しております。
※個人が特定されるような情報は割愛させていただいております。

・大学に勤務し、年に1~2回、1泊2日のゼミで山梨県に出張している。ゼミでは、レクチャーのほか、美術館や文化施設の見学をしている。これは「在勤」となるか。
⇒山梨県内での勤務の経験があるということで、「在勤」といたします。

・これまでに山梨県内の公立施設などで制作やワークショップを行い、県内のギャラリーでも個展やグループ展を開催しているが、「在勤」となるか。
⇒山梨県内での制作活動の経験であり、「在勤」ではありませんが、山梨県とのゆかりに該当するものといたします。応募用紙の「山梨とのゆかり」欄に具体的にご記載ください。

・レジデンスの場合でも制作費は支給されるか。
⇒支給されます。

・レジデンスには2週間以上滞在とのことだが、週末などに2~3日ずつ、合計で2週間以上になるよう複数回滞在する、ということでも良いか。
⇒合計で2週間(14日)以上であれば可です。

・北池に雨が降ると水がたまるということだが、どれくらいたまるのか。
⇒池の西側の少しくぼみのある場所によっては10センチ程度たまります。南西側の底には枡形があり、そこにはさらに深くたまることがあります。

・北池の中に展示をするならば、少し高くする方が良いのか。
⇒鑑賞者が池の中におりて鑑賞するのか、おりずに鑑賞するのか、という点から考えてください。ただし池におりるには段差や大きい石などもあり、バリアフリーとは言えません。

・北池に作品を出すならば、どのくらいのスペースが使えるのか。
⇒1エリアにつき1件を選考するので、かなり広いスペースが使用できます。スペース内のおおまかな距離を記載した図面を公開しますので、ご参照ください。
ミュージアムコートの場合は、公園側(東側)は公園利用者の通路になっていますので、作品設置はできません。

※「北池・ミュージアムコート図面」参照

・作品に高さ制限はないのか。

⇒北池であれば、岡本太郎《樹人》の鑑賞を妨げないようにしてください。高さがある作品の場合は、倒れないように設置することはもちろん、強風や地震などにも対応できるようにしてください。台風などの場合は、必要な措置を追加で行うなど、鑑賞者と施設の安全を確保してください。

・作品を固定するアンカーボルトなどは打てるのか。

⇒北池の北側の地面部分には打てますが、撤去後に現状復帰してください。ミュージアムコートは、レンガ敷きのためボルトを打つことはできません。

・作品の固定のためにフックなどを引っかける場所はあるか。

⇒マンホールの角などは使用できません。南館のガラス窓の下に、低い手すりがありますので、養生すれば使用できます。

・レストラン側の植え込みに支柱などを立ててワイヤーを吊るなどはしても良いか。

⇒植栽が密に植えられているので、影響がないように立てることは難しいです。もともと設置されている照明の柱を養生の上使用することは可能です。

・ワークショップで館内の工房などを使用する際、展示作品に対する思いや考えを書いたものを設置することはできるか。

⇒生花や害虫が発生する恐れのあるものなど、もともと持ち込みができないもの、あるいは販売を促進するようなものや金銭の授受に関するものは設置できませんが、ワークショップ参加者に作品の意図を伝えるような掲示物は設置可能です。